



TITLE:

第45回近畿地区国公立大学図書館協議会総会

AUTHOR(S):

CITATION:

第45回近畿地区国公立大学図書館協議会総会. 静脩 1976, 13(1): 8-9

ISSUE DATE:

1976-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36749>

RIGHT:

英国二次資料展の開催

英国大使館より文部省学術国際局情報図書館課を通じ、英国における抄録、索引等の二次資料約200点が下記のとおり展示されて、同国の学術情報活動の一端に触れることができた。開催期間中には約300名の教職員および学生の来館があった。

記

附属図書館	6月 9日(火)～11日(金)
農学部図書室	6月14日(月)～15日(火)
医学図書館	6月17日(木)

第23回 国立大学図書館協議会総会

〈と き〉 昭和51年6月4日(金)～5日(土)

〈ところ〉 名古屋ターミナルホテル

昭和51年度総会は、東海地区を当番館として名古屋市で開催された。

第1日の午前、各特別委員会、調査研究班の報告、新役員館の選出があったのち、岸本奨励賞表彰式が行われた。本年は「東洋学関係資料(石浜文庫)の整備に関する功績」で、9年間の努力が実って大阪外大布川掛長、「理工系大学における図書館業務の電算化」で成果をあげた東工大ワーキンググループ、「大学図書館における目録業務の改善」に独創性と努力を認められた広品川掛長が選ばれた。

午後は、文部省説明があったのち、「大学図書館改善要項の改訂をめぐる諸問題」をテーマに研

究集会がもたれた。研究集会は、本協議会に設置された、「大学図書館改善」調査研究班の各委員による事項別報告を基として討論が行われたが、終始熱気に満ちた2時間であった。

第2日目は、全国9地区より提出された協議題について、3分科に分かれ、第1は、一般的事項及び運営に関する問題、第2は、予算及び人事、第3は、奉仕及び技術的問題について各々協議が行なわれ、そのまとめが、午後の全体会議に報告され、さらに討議が重ねられた後、ある事項については既設の特別委員会等でさらに検討する。また、文部省その他に要望する事項が整備され、これらの具体的取扱いについては総括理事会に一任され総会は終了した。

第45回 近畿地区国公立大学図書館協議会総会

〈と き〉 昭和51年5月7日(金)

〈ところ〉 大阪市天王寺「なにわ会館」

昭和51年度総会は、文部省情報図書館課沙藤専門員の出席を得、大阪府立大学を当番館として開催された。

前年度事業の一般経過報告につづいて、企画、

参考図書、図書館統計の各委員会報告が、各主査から行なわれた。

つづいて、本年度は役員館の改選期に当るので、これの選出が行なわれた。その結果、以下の各大学が選出された。

幹事館：京都大学・大阪市立大学 主査館：大阪

大学<図書館業務機械化委員会> 大阪市立大学
<図書館統計委員会> 指名館：京都工芸繊維大学、大阪教育大学、和歌山大学、奈良県立医科大学、神戸市立外国語大学、姫路工業大学、大阪市立大学

昭和51年度の事業計画は次のように決定された。

1. 企画委員会 <主査館：京都大学>
2. 図書館統計委員会 <主査館：大阪市立大学> 本年度も継続する。
3. 図書館業務機械化委員会 <主査館：大阪大学> 昨年度は休止していたが、本年度は新たなテーマを検討のうえ、活動に入ることになった。

なお、参考図書委員会は、約9年間にわたり活動を行ない、参考業務とは何か、の原点から問題を掘起し、この業務の重要性は勿論のこと、大学図書館の現場に如何に定着させ、利用者に満足を与え得るかの基本的な考え方から発足した。そし

て、活動のまとめとして邦文書誌所在目録の作業にかかったが、予算、各館の事情により、実現不能となりついに前年度限りで活動を停止することになった。

この外研究集会として

1. 図書館施設、主題別、業務別、講演会などがあるが、これらの具体化については、企画委員会で決めることになった。

なお、館長懇談会、大学図書館基本問題、相互協力などについても討議があったが、これについても、企画委員会で検討することになった。

協議終了後文部省情報図書館課沙藤専門員から、昭和51年度大学図書館関係主要予算額事項別表をもとに説明があり、つづいて、大学図書館改善協議会について、本協議会の目的、問題点、現在行なわれている検討事項の報告があり、更に図書資料の集中、分散制、図書館長の専任、併任制について質疑応答があった。

なお総会終了後の企画委員で、本年度の事業計画として次のことが具体化された。

委員会： 前述の企画委員会、図書館統計委員会、図書館業務機械化委員会はそれぞれ活動に入る。

研究集会： I. 図書館施設見学 これは次の二大学を予定する。①大阪女子大学図書館 ②甲南女子大学図書館 日時その他については、企画委員会メンバー校が折衝することになった。

II. 講演会 ①とき：昭和51年10月中

ところ：大阪大学吹田図書館

演題：英国における大学図書館の機械化について

講演者：大阪大学附属図書館参考掛長 門口泰典

②とき：昭和51年9月27日(月) ところ：京都大学楽友会館 演題：“英国国立図書館について”

講演者：The British Library Dr. K. P. Barr ※②については京大主催の講演会を地区協議会とした。

III. 館長懇談会・事務長懇談会 地区協議会としては初めての試みであるが、当日は附属図書館の当面の諸問題について話合われる。

とき：昭和51年9月10日(金) ところ：御車会館